

平成26年度 教育委員会 第19回定例会 議案

1 日 時 平成27年1月7日（水） 午後1時30分

2 場 所 教育委員会議室

3 日 程

(1) 開 会

(2) 議 事

<非>第48号議案 教職員の懲戒処分 … 非

<非>第49号議案 教職員の懲戒処分 … 非

<非>第50号議案 教職員の懲戒処分 … 非

(3) 報告事項

(4) 閉 会

第19回定例会 報告事項

番号	項 目	Page
1	第4回「地域とともにある学校づくり」検討委員会	1
配付 のみ	<非>静岡県家庭教育支援条例の一部を改正する条例の制定	非

第4回「地域とともにある学校づくり」検討委員会

(義務教育課)

1 事業の目的

静岡県が掲げる「有徳の人」の育成に向け、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の導入を促進するとともに「文・武・芸三道鼎立」を推進し、地域ぐるみ・社会総がかりで子どもたちの教育にかかわる学校づくりを協議・検討する。

2 日時

平成26年12月18日（木）午前10時から11時30分まで

3 内容

- (1) 磐田市の実践発表
- (2) 事務局からの説明（スポーツ振興課、社会教育課、義務教育課より）
- (3) 協議（静岡らしさの具体化、優れた教育実践の情報発信など）

4 主な意見

- (1) 磐田市の実践発表と質問
 - ・ 小中一貫教育に向けた学府での取組。豊岡学府では、「グローバルコミュニケーション科」（英語で初歩的な会話ができる子を目指して）の特設
 - ・ 学校運営協議会では、学校運営に対する参画意識が向上することで、委員からの質問が活発になり、積極的な姿勢が感じられる。
 - ・ 今年度、夏のコミュニティ・スクールフォーラムによる啓発。
 - ・ コミュニティ・スクールの一層の充実に向けた課題は、人材の確保である。
 - ・ 学校運営協議会の運営の中心となる方をどのように選出しているか。
→学府によって様々だが、それぞれの地域に合った形態になっている。
 - ・ 学校運営協議会の委員の資質向上に向けてやっていることは何か。
→学習会や研修会を行っている。フォーラムがその1つの例である。
- (2) 事務局より
 - ・ スポーツ振興課より、運動部活動指導の工夫・改善支援事業について説明（高校）。外部指導員の活用は、指導に不安のある教職員の手助けになっている。県外の外部指導者活用事業（中高特）についても調査を報告。
 - ・ 社会教育課より、平成26年度優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰について報告。（富士宮市立富士根南小学校「学校応援団『愛育会（PTA）+C（地域）』」と袋井市立袋井北小学校「ともえサポーターズ」）
 - ・ 義務教育課より、県外視察、コミュニティ・スクールの導入促進等の報告。
- (3) 協議
 - ・ 人的・財政的な支援も大事だが、関わる人の価値観が変容することも大切である。
 - ・ 芸術の資源活用のために、人材バンクをつくるのも有効である。
 - ・ 学校を支援する仕組みは静岡県では、十分できているように思う。学力向上等も考えて、取り組んでいくことも必要。
 - ・ 導入効果を検証していく作業も大事にしていきたい。

5 今後の予定

- (1) 第5回「地域とともにある学校づくり」検討委員会
平成27年1月20日（火）午後1時～2時30分 静岡県産業経済会館
- (2) 第6回「地域とともにある学校づくり」検討委員会
平成27年3月開催予定